ふむふむ

光風台小学校図書室

令和５年（2023年）６月号

6月には暦のひとつに6月6日の「芒種（ぼうしゅ）」があります。

「芒種」は、米や麦など穂の出る穀物の種をまく時期という意味で、とくに米の種まきを指しています。日本では水田に直接種をまかず、苗代で育ててから田植えをする方法を受け継いでおり、米は寒冷に弱い性質をもっていたため、この「芒種」の時期に種をまいていました。

としょかんたんけん

ほんのしょうかい

・『**こうえんのシロあめふり**』わたなべひろみ

あめのひのこうえんで、シロはひとりでどろだんごを作ってあそんでいました。すると、どこからか声が聞こえてきて…。

・『**あめふり**』さとうわきこさく・え

毎日毎日雨ばかり降り続くので、怒ったばばばあちゃんは雲の上の雷に向かって大声で言った。「ようし、こっちにも考えがあるよ」

・『**おじいちゃんちのたうえ**』さこももみ

しょうたろうの家族は、毎年田植えの季節になると、おじいちゃんの家に行きます。今年は、しょうたろうも、たくさんお手伝いをする約束をしました。

・『**田んぼのきもち**』森雅浩・作　松原裕子・絵

田んぼは、見つめてきました。日本人の豊かな暮らしを。そして、今日、田んぼは、日本人は、幸せでしょうか？